

地域連携NEWS



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL AND INSTITUTE OF GERONTOLOGY

医療サービス推進課医療連携室
Vol.75 2018年7月発行

〒173-0015

東京都板橋区栄町35番2号

TEL03(3964)1141(代表)

FAX03(3964)1392(連携室)



地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
副院長 原田 和昌

当センターとの連携医登録を頂いている先生方、ならびに登録を予定されておられる地域の先生方におかれましては、患者さまのご紹介ならびに受け入れにいつもご協力頂き心より御礼申し上げます。おかげさまで、現在768名の先生方に登録を頂いており、ご紹介いただいた初診患者様の数も順調に増加しております。

ご報告ですが、救急外来受け入れ患者数は平成28年度の9,860名が平成29年度の10,218名に増加いたしました。当センターは平成29年10月よりSCU病棟を新設しましたが、その稼働率は29年度の実績で86.6%となっており、救急患者の受け入れ増加に関係しているものと存じます。ほとんどの急性期の脳卒中患者について、SCU病棟による迅速な受入が可能となっています。さらに、地域連携パスによる回復期リハビリテーション病院への転院など、地域の先生方との切れ目ない医療の提供を目指しております。

なお、連携医の先生方との関係の強化を目指して、平成29年8月より当センターでは「かかりつけ医紹介窓口」を開設し、病状の安定した患者の逆紹介を積極的に推進しております。おかげさまで連携医の先生方への逆紹介率が大幅に増加いたしました。また、在宅医療連携病床は担当が砂川医長から大川医長に変更となりましたが、これまでどおり在宅医療を行われている連携医の先生方を支援する病床ですのでご利用ください。

医師会の先生方との共催による医学講演会や臨床病理カンファランスもこれまで以上に充実させていきたいと思っております。なお、平成30年3月末よりホームページを全面リニューアルしました。さらに、平成30年5月より204台収納可能な駐車場を正式運用開始いたしました。連携医の皆さまは優先してご利用可能となっておりますので、患者様のご紹介や講演会、カンファランスにおいでになる時にはご連絡ください。今一層のご指導、ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



～医療連携室直通電話のご案内～

医療連携室直通：03-3579-6963 (平日9:00～17:00)

代表電話：03-3964-1141 内線1139～1142でも承ります。

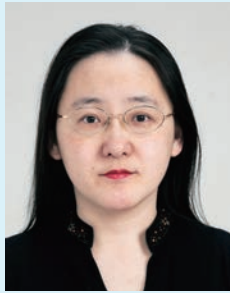
医療連携室では迅速に対応すべく、直通の電話番号をご用意しております。是非ご利用ください。

予約専用電話	検査予約	医療連携室	
外来受診予約専用番号 03(3964)4890 対応時間 月～金 9:00～17:00 当センターは紹介予約制です。ご紹介の際は、紹介状とご予約をお願いいたします。	代表電話番号 03(3964)1141 対応時間 月～金 9:00～17:00 ◎CT、MRI、骨密度(内線2171) ◎RI(SPECT、PET検査)(内線2154) 検査科にてスムーズな予約対応を行っております。	医療連携についての問い合わせ 03(3579)6963 医療連携室FAX番号 03(3964)1392 ホームページ： http://www.tmg Hig.jp/ (過去の地域連携NEWS、講演会のご案内、医療連携室のご案内はホームページでご覧いただけます。)	<ul style="list-style-type: none"> ●東武東上線「大山」駅下車南口・北口より徒歩4分 ●都営地下鉄三田線「板橋区役所前」駅下車A3出口より徒歩11分 <p>東京都健康長寿医療センター</p>

眼科のご紹介



眼科部長
沼賀 二郎



眼科医長
池上 靖子

当センター眼科は眼科研修プログラム施行施設として眼科専攻医の研修及び城西、城北地区を中心に医療連携を行わせて頂いております。センター診療圏には大学付属病院が3施設あり、医療激戦区であります。その中で当センターは施設が2013年に建て替えられ最も新しく眼科病棟は7階で見晴らしが素晴らしいです。また診療面では顔の見える、頼れる医療を心がけております。是非引き続き、強固な病診連携を継続できる事をスタッフ一同切望しております。以下に現在の取り組みを紹介いたします。

1. 全身合併症を多数抱えた方、難聴、要介護の方にもやさしく接し、わかりやすくご説明します。
 2. 全ての手術に関して認知症罹患の方もまず局所麻酔での手術を考えます。
 3. 硝子体手術は、短期間入院でMIVS（小切開硝子体手術）にて加療します。
 4. 緑内障手術は、従来の線維柱体切除術、切開術に加えて、カフークデュアルブレード、谷戸式フックなどを使ったMIGS（低侵襲緑内障手術）を施行します。
 5. 白内障手術は単焦点、多焦点、乱視矯正眼内レンズを用いて、患者様が満足できる最善の手術を行います。
 6. 網膜疾患では、加齢性黄斑変性症、糖尿病網膜症および黄斑症、網膜血管閉塞に伴う黄斑浮腫その他の黄斑疾患の診断、治療にも力をいれております。抗VEGF硝子体注射などの加療も積極的に行っています。
- その他の眼疾患にも幅広く対応しており、これからも地域の先生方とともに「やさしい医療」を実践して参りたいと考えております。今後とも当センター眼科をよろしくお願い申し上げます。



カフークデュアルブレード



手術風景（硝子体手術）

公開CPCのご案内

このたび、平成30年度東京都健康長寿医療センター公開CPCを下記のとおり開催いたします。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

開催日時：平成30年7月12日（木）19時30分～

担当科：膠原病・リウマチ科

症 例：「脳出血で発症した再重症例の高齢者膠原病」

開催場所：東京都健康長寿医療センター3階 第3会議室AB

アクセス

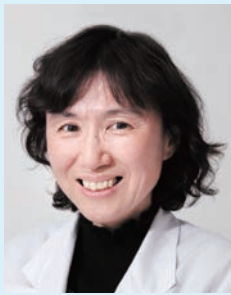
●東武東上線「大山」駅下車 南口・北口より徒歩4分

●都営地下鉄三田線「板橋区役所前」駅下車 A3出口より徒歩11分

※本公開CPCは日医生涯教育制度（1.5単位）の対象予定です。

事前申込不要、参加費無料です。

リハビリテーション科のご紹介



リハビリテーション科
部長
金丸 晶子



リハビリテーション科
専門部長
小山 照幸

日頃はお世話になり感謝申し上げます。当センターは急性期病院であり、体調を崩されて入院した患者さんが、治療により回復して、少しでも早く元の生活に復帰していただこうと考えています。そのためには原因疾患の治療はもちろんのこと、入院前のADLや体力、筋力をできるだけ低下させないことが重要です。健康な高齢者においても、加齢変化は徐々に進み、身体能力・精神機能は、低下していきます。一度低下した体力や筋力、精神機能を回復させることは容易ではありません。今までは入院すると安静を強いられることも多く、また患者さんも安静にすることがあたりまえと考え、下肢筋力を始めとした身体能力、精神機能は低下していました。そのため当センターでは、患者さんの入院前の生活状態を目標に、入院早期から全身状態を考慮しつつ、できるだけ廃用状態を作らないように、リハビリテーションの早期介入を積極的に行っています。

また近年、高齢者の認知機能低下が影響したと考えられる危険なできごとについては社会問題になっています。誰でも加齢とともに認知機能は低下していきますが、その進み方をできるだけ遅くさせようという取り組みを行っています。当科では軽度認知機能障害という認知症の前段階から、運動や簡単な頭の体操をするという予防プログラムに取り組んでいます。まだ始めたばかりですが、効果がみられており、関心がある方がおられましたらご紹介してください。

さらには、TAVIハートチームの一員として弁膜疾患に対する心臓リハビリテーションを行っています。低侵襲大動脈弁置換術後のADL向上を目指して、通院運動療法を行っています。心機能が低下している患者さんには、通院自体が運動となっている面もありますが、継続することにより活動範囲が広がります。

そのほかにも、脳卒中後の痙縮に対して、ボトックス治療や装具外来など行っています。詳細は、当センターホームページをご覧ください。（<http://www.tmg Hig.jp/hospital/department/central/physical-medicine-and-rehabilitation/>）

当センター退院後、診療所でお世話になる患者さんも多いと思いますが、お困りな事例などございましたら、ご連絡いただければと思います。今後ともよろしく願いいたします。



連携医療機関のご紹介 要町やまもと眼科



要町やまもと眼科
院長 山本 禎子

私は豊島区要町で開業して7年目になります。場所は池袋から出発する国際興業バスの停留所「要小学校」を降車してすぐ前のビルの1階です。

私の専門は糖尿病網膜症、網膜剥離、網膜静脈閉塞症、加齢黄斑変性などの眼底疾患です。特に糖尿病網膜症は30年間にわたって大学で研鑽させていただき、眼科の枠を超えて内科をはじめとした他科の先生方と総合的に糖尿病を勉強するといった恵まれた環境に身を置くことができました。大学では主に手術を専門としており、病院教授として多くの若手の術者を育てることができました。今ではその彼らが一線に立って多くの患者さんを治してくれていることが何よりも幸福です。2010年に親の介護のために前職場であ

った山形大学を辞して現在の開業を決意しました。現在は、手術はおこなっておりませんが、手術になる前に病状を安定させて、できる限り手術に至らないで済むようにということを目指して日々診療にあたっております。これまで、糖尿病網膜症で初診時は視力が両眼0.1程度であったのが、観血的治療を行わずに1.0近くまで回復した患者さんが数十例おります。あきらめていたそれまでの職場や仕事に復帰できたことを喜んでいる患者さんを見ることは医者冥利につきます。しかしながら、今でも糖尿病網膜症の観察、治療をまったく受けずに、眼科初診時にすでにかなり進行した網膜症となっている患者さんがいることも事実です。なぜ、これだけ医療施設が多い東京でこのようなことが起こるのか不思議でなりません。患者さんに聞いてみると、糖尿病網膜症の恐ろしさを知らない人があまりにも多いことに驚かされます。視力が落ちてから慌てて来院して

も、もとの視力には戻すことは非常に難しいことが知られていないのです。改めて啓蒙活動の必要性を感じます。

今、国は医療費増大防止のための検診に力を入れていますが、もっと手近なこととして、糖尿病と診断されたらまず眼科受診という基本的なことから見直し

ていけたらと思っております。

要町やまもと眼科

〒171-0043
東京都豊島区要町1-8-11要町東洋ビル1F
TEL: 03-5926-3650

診療科: 眼科

休診日: 金曜・土曜午後・日曜・祝日

診療時間:	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	△	○*	△
14:00~18:00	○	○	○	○	△	△	△

※土曜は9:00~13:00

ホームページ: <https://www.yamamoto-eye.jp/index.html>

アクセス: 地下鉄有楽町線・副都心線 要町駅より徒歩5分

新駐車場のご利用について

このたび当センターでは、多くのご利用者様が、より快適に駐車場をご利用いただけるよう、204台収容の駐車場を新たに整備いたしました。

利用料金等

利用区分	ご利用料金
患者・付き添いの方	3時間まで 100円、以後1時間毎 100円
お見舞い・面会の方	1時間まで 100円、以後1時間毎 200円
その他	1時間毎 400円

※障害者手帳等をお持ちの方は、ご提示によりご利用料金を免除いたします。



連携医の皆さまが利用される場合の料金について

連携医の皆さまが、当該業務でセンターをご訪問の際に駐車場をご利用された場合は、駐車料金を免除（無料）させていただきますので、受付窓口にて当センターの連携医である旨をお伝えいただき、駐車券の割引処理をお受けください。